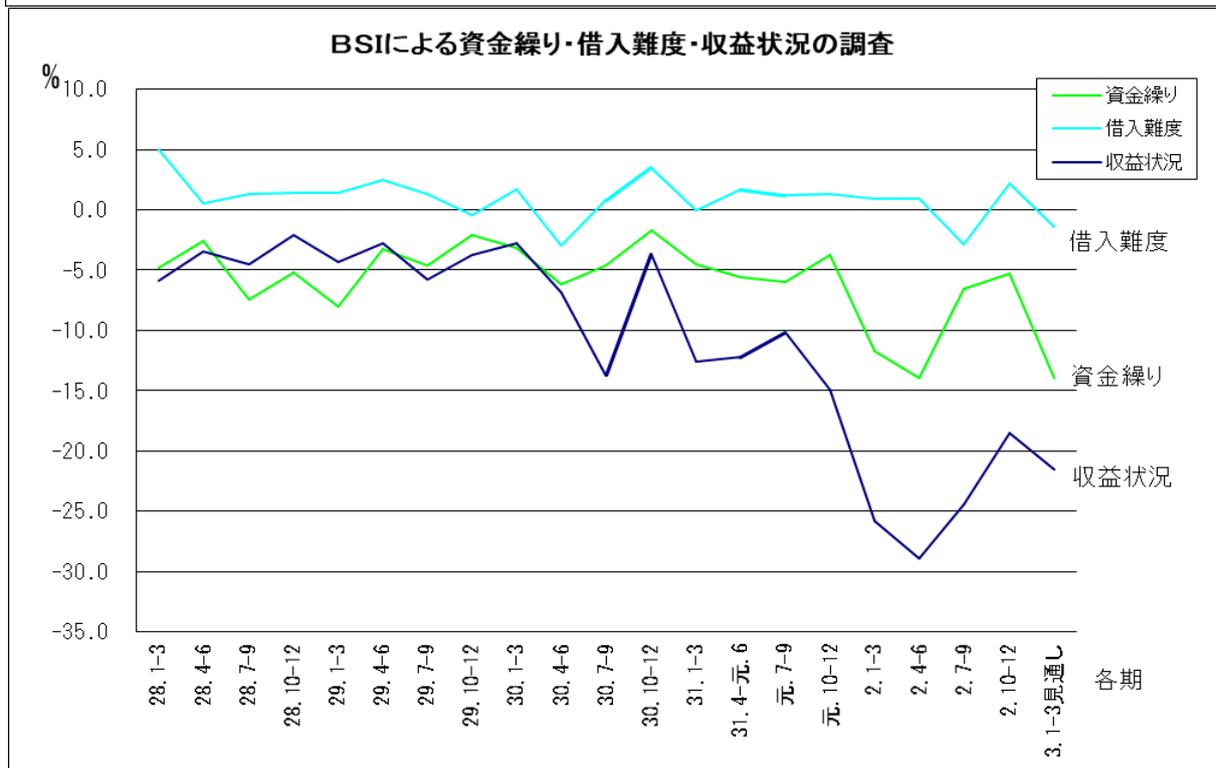
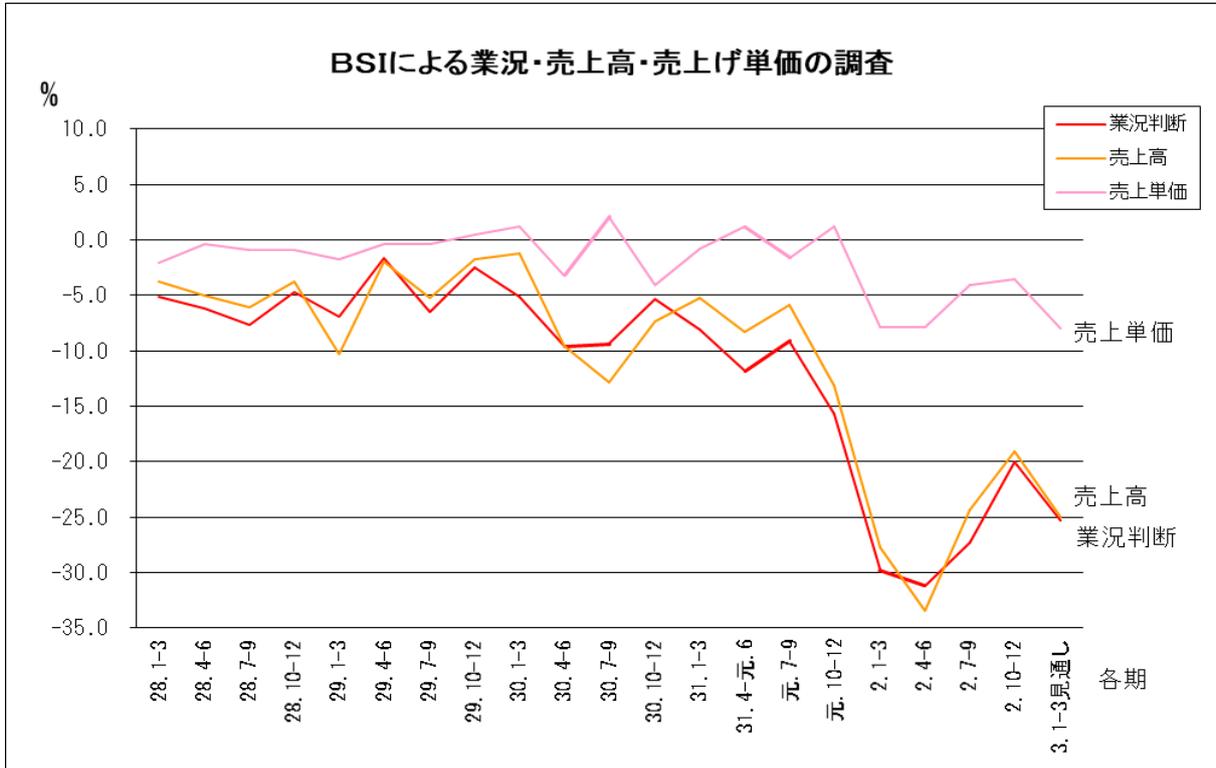


今期の業況判断は「7.3 ポイント」上昇するも、  
来期は全ての項目で下降予測。

中小企業景況調査令和2年10-12月期(令和3年1-3月期予測)

—鳥取県下4商工会議所の調査より—



\*BSI=(上昇・増加-減少・下降)×1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」=100)  
経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

## ■業況(グラフ参照)は……

「令和2年10-12月期」は、全ての項目(「業況判断」「売上高」「売上単価」「資金繰り」「借入難度」「収益状況」)で上昇しました。

「業況判断」は7.3ポイント上昇しましたが、前年同期と比較すると4.3ポイント低い数値です。

「売上高」は5.3ポイント上昇しましたが、前年同期と比較すると5.9ポイント低い数値です。

「売上単価」は0.6ポイント上昇しましたが、前年同期と比較すると4.7ポイント低い数値です。

「資金繰り」は1.3ポイント上昇しましたが、前年同期と比較すると1.6ポイント低い数値です。

「収益状況」は5.9ポイント上昇しましたが、前年同期と比較すると18.5ポイント低い数値です。

「借入難度」は5.1ポイント上昇しましたが、前年同期と比較すると0.9ポイント高い数値です。

産業毎の「業況判断」も、「建設業」の現状維持を除き「製造業」「非製造業」ともに上昇しましたが、前年同期と比較すると「建設業」の16.6ポイント低下を筆頭に、「サービス業」「小売業」でも下降しました。「製造業」「卸売業」では2.3ポイント・2.7ポイント上昇しました。

来期は全ての項目で下降が予測されています。

産業毎の「業況判断」も、「建設業」の現状維持を除き、「製造業」「非製造業」ともに下降が予測されていますが、全ての産業が「小売業」の36.4ポイント～「建設業」22.9ポイント下降した前年同期と比較して穏やかな下降予測になっています。

## ■直面している経営上の問題点

1位:消費・需要の停滞(20.18%)

2位:売上・受注の減少(18.65%)

3位:人手不足(10.70%)

4位:競争激化(9.17%)

4位:経費の増加(9.17%)

## ■各社からのその他の問題点

- ・民間建設投資が停滞しており、補正予算の切れ目のない実行をお願いする。(建設業)
- ・コロナの影響もあり、今年は雪の影響があり、昨年と比べなかなか困難な状況(小売業)
- ・専門職(技術職)不足により、外注費が増加している傾向がある(サービス業)
- ・「GOTO トラベル」スタートで回復基調であったが、12月以降のコロナ拡大で減少する。特に年末頃からの停止で、予約がほぼキャンセルとなる。新分野への進出も考えているが、本業を補完する妙案がまだまとまらない。(サービス業)
- ・今期はGOTOキャンペーンの恩恵を受け、連日多くのお客様がいらっしゃいましたが、一転来期はGOTOキャンペーンの一時停止及び大寒波と、それまでの予約のほとんどがキャンセルになり、急アクセルと急ブレーキの状況で予想や対応が難しい。(サービス業)
- ・今後の景気動向が読めない。(製造業)
- ・先の見通しが出来ず不安である。又、この雪と寒さの為お客が来ない。(小売業)